

平成20年度局配分枠予算について

理 財 局

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

理財局においては、財政運営、市税の賦課徴収、公有財産の管理、物品等の調達など、経常的かつ市政の運営上必要不可欠な事務を所管しており、限られた財源の範囲内で、より円滑な行政サービスや市税徴収体制の強化につなげることを念頭において予算を編成した。

具体的には、税制改正への対応や市税徴収率の更なる向上に向けた取組として、新たなシステムの開発に着手することや、談合等の不正行為を防止・排除するため、引き続き、入札・契約体制の改革に取り組む。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

【肉付補正予算計上】

公的年金からの特別徴収に伴うシステム改修 142,000 千円

<充実事業>

【当初予算計上】

滞納整理支援システム開発 全体事業費 271,000 千円（うち充実分 162,000 千円）

【肉付補正予算計上】

電子入札システム改修 全体事業費 97,840 千円（うち充実分 15,000 千円）

平成20年度局配分枠予算について

会 計 室

1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

会計室は、金銭会計事務及び物品会計事務を所管しており、京都市行政業務情報システムの基幹である財務会計システムの運用・管理に要する経費等を予算計上している。